

地域おこし協力隊活動報告書

| | |
|------|-----------|
| 活動団体 | 南九州市茶業振興会 |
| 役職 | |
| 氏名 | 窪 拓摩 |
| 着任日 | 令和3年2月1日 |

| | |
|------|--|
| 活動月 | 令和6年6月(着任3年5ヶ月) |
| 主な活動 | 1.茶最盛期をサポートした海外ワーカーとの交流会を実施 2.全国より知覧茶Ambassador online school 2024の募集開始！ 3.鹿児島県協力隊会議2024への参加 |

1. 茶最盛期をサポートした海外ワーカーとの交流会を実施



写真:森の学校での交流会風景

茶最盛期を過ぎ、夏以降実施予定の企画づくりや打ち合わせ等の仕込み業務を進めた一ヶ月でした。当月下旬には、3月末から6月までの茶最盛期における生産現場で多大なるサポートをいただいた海外ワーカーの方々と、今年の振り返り交流会を実施いたしました。

地域おこし協力隊活動報告書

本年に入り、ニュースやSNS等で情報が出ている「労働力確保」の必要性について、今や世界中でワーカーの取り合いになってきているとの事実に対し、本年一次産業の現場で動いていた私自身も、非常に危機感を感じるシーンが多々あり、引き続き優先順位の高い取り組みとして継続と展開をしていかなければならないと感じております。

ひとえに労働環境を整えることや、賃金の高低だけがワーカーの働きたいエリア、企業、職種の選択肢となるだけではなく、数ヶ月間その土地で「暮らす」ための衣食住すべてを整えて受け入れる体制ができるかどうかという視点で、事業やプロジェクトを進められているのかが重要なポイントの一つであると考えます。



写真: ヴィーガンや宗教で禁じられている食材を配慮した交流会でのフード提供

今回の交流会に合わせて、TANOKAMI STATIONの方々に南九州市産などのローカル食材を多く使用したフードをご用意いただきました。

このフード提供では、各地の宗教や文化を尊重したメニューとなっており、海外の各地から住民票を当市に移し、不慣れな環境でご尽力されているワーカーの方々が楽しんでいただけるよう、そしてまた来年のこの時期に当市や茶業で力になっていただけるよう考えられた内容となっております。

深刻化する労働力確保や関係人口づくり等において、今回私個人が動いただけでも表面化した効果が出ているため、今後はまだ余力があるうちに先手をうち、地域が一体となって労働力確保や関係人口づくり、地域活性化を推進すべきと日々感じております。

2. 全国より知覧茶Ambassador online school 2024の募集開始！



写真：知覧茶Ambassador2024 インスタグラムPOP

本年度で四期目の開催となるオンラインスクール「知覧茶Ambassador online school 2024」の募集がスタートいたしました。大変ありがたいことに、例年全国より、また海外からも多数のご応募をいただき人気企画となっております。2022年から始まったこの企画も、今では海外含め全国に100名以上の知覧茶アンバサダーの方々がいらっしゃいまして、今後の展開にも大きな期待がもてるプロジェクト化したい取り組みの一つです。

昨シーズンにご報告をした際も挙げたと思いますが、最終的にはオンラインスクールから知覧茶の産地 南九州市での五感をフルに使った現地開催企画が参加者を中心に多く望まれており、一刻も早く実行に移すべき内容であると感じます。

当企画は、お盆明けの8月下旬から毎週土曜日の午前中に開催します。まだスタートまでは時間がありますが、早くもSNSを中心に熱気を感じております。

3.鹿児島県協力隊会議2024への参加



写真:協力隊会議2024の様子@鹿屋カピックセンター

当市の協力隊になってから、はや3年以上経過しまして、気づけば当市の協力隊でも最長の任期を活動しております。当月は、一年に一度鹿児島県内の地域おこし協力隊が集まり、各エリアでの課題共有や進めている企画についての相談、現在の悩み解決や今後の展望についての情報共有などをおこなう「協力隊会議」が、鹿屋市にあるカピックセンターで開催されました。

最近では、地域おこし協力隊とJICA海外協力隊の親和性が高いということから、今回の会場を運営されている鹿児島県JICAの各所にご協力をいただき当企画へ参加させていただいております。

行政ポジションでは、なかなか市や業種の垣根を超えた広域連携がはかりにくところを、半行政・半民間ポジションで動く協力隊同士が繋がり、企画に変えて変革をもたらすという流れが今後活性化できるのではと、今回の会議を通し感じました。

以上簡単ではございますが、当月の報告といたします。